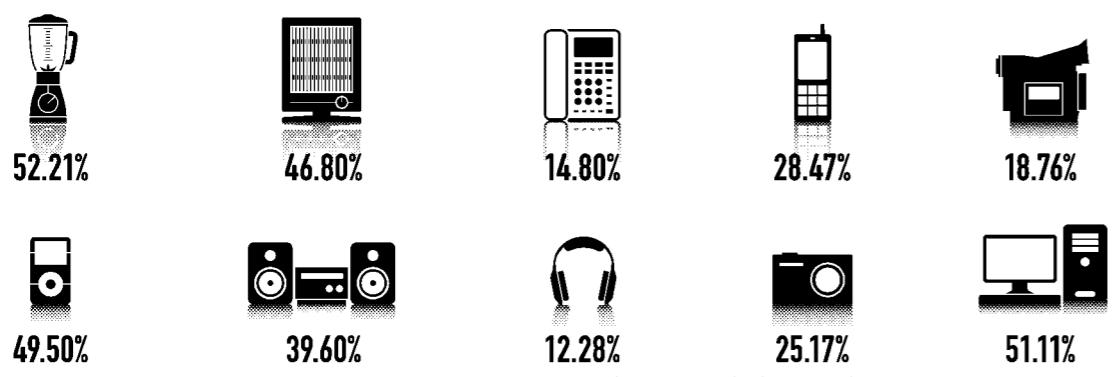


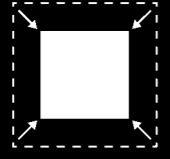
小型家電リサイクルなら、“使い勝手の良い”KINKIのプラント。



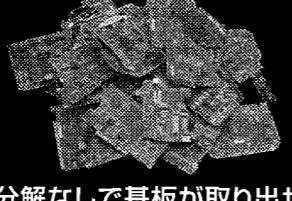
※有用金属含有量比率(出典:中央環境審議会)

これから確実にニーズが増える、小型家電リサイクル。リサイクル法の閣議決定を受け、多くのみなさんが関心を持って動向を見守っています。そこで、リサイクル技術のリーディングカンパニー近畿工業より、今までにない画期的なリサイクルプラントをご提案します。

〈近畿工業製プラントの特長〉



①省スペース・低成本。
初期投資の負担を軽減します。



②手分解なしで基板が取り出せます。



③不燃ゴミ、自動車用部品なども同じプラントで処理できます。

近畿工業株式会社 www.kinkikogyo.co.jp

■本社〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴20番地 TEL.0794-82-0100

碎剪選: で再生資源技術に挑む **KINKI**

ゴミは衝撃破碎機によって廃棄や再利用がしやすいうように細かくされる



破碎機が大活躍
破碎機によって廃棄物はまとめて外部の専門業者に売却する。破碎機は一日5時間稼働で32tの処理が可能。単純に時間あたりの稼働で、後工程によって選別し、鉄やアルミなどリサイクル可能なものは、いったんビットに集められたあと、ホッパに投入され、軸式のせん断破碎機へと送る。衝撃破碎機によってさらに細かくされ、資源処理した実績を有する。資源処理するたびに、一拳ごとに處理するため、破碎機の刃は不均等に摩耗する。それぞれの刃の設置場所を絶えずスイッチするなど、日常の使い方を通じて常に十分な能力を発揮できるようになります。



を学習施設設

「環境意識」を啓発



〈廃棄物処理・プラスチックリサイクルに〉

●頑丈な構造で過酷な条件に強い!!

●粉碎・破碎で50年以上の実績

●ユーザー様の絶大なご支持

●各種テストは無料

ご連絡下さい。

過 酷 な 条 件 に 強 い!

●粉碎例
樹脂容器・樹脂ハーレット・缶・瓶・産業廃棄物
・粗大ゴミ・家庭廃材など

粉碎機・破碎機の **オホダテ** 株式会社 大達精工場

●本社・工場 〒579-8038 大阪府東大阪市箱崎町6-11 TEL.072-982-2401 FAX.072-982-2407

●東京営業所 〒114-0015 東京都北区中里1-37-9 TEL.03-3822-2766 FAX.03-3822-2768

●名古屋営業所 〒451-0041 愛知県名古屋市西区鶴下2-18-4 TEL.052-551-0675 FAX.052-551-0675

<http://www.ohdate-seikyo.co.jp>

前川の破碎機・粉碎機

創業1946年 破碎機・粉碎機の専門メーカー

【上海独資現地法人】社長 100%出資「前巧(上海)機械貿易有限公司」を中国上海市に設立しました。各種粉体機械の輸出入、現地での人民元決済など2012年10月営業開始予定。

【新製品】1000台以上の実績ロールブレーカに新機種RBT-1716G型が登場!

ロール間隙2.8mmが可能なロールクラッシャーです。

【破碎機・粉碎機】○ロールブレーカ ○ファインジョークラッシャ ○ハンマークラッシャ ○鬼歯式ロールクラッシャ ○二軸ロール式解碎機 ○小型ジョークラッシャ

【実績一覧】---

金属シリコン、焼結金属、ガラス板、ガラス塊、合金鉄、レアメタル、コーケス、セラミックス、結晶シリコン、カーボン、石灰石、貝殻、アスファルトビッヂ、液晶用蛍光管ガラス管、T0パッケージ(基板)、溶融スラグ、鉱滓、レンガ、粉末冶金成形物、瓦、バッテリ、石膏ボード、ALC建材、焼却灰渣、鉄石、陶器、建設残土、脱水ケイキ、マグネシア、耐火材料、アスファルト、廃材、焼却クリンカー、研削材、耐火煉瓦、鉄筋石、真珠石、寒水石、人工大理石、長石下水陶管、クリンカー、溶融メタル、黒曜石、シリコニア、陶石など

【テスト・機器設】

・ロールブレーカ3基

・ジョークラッシャ3基

・ハンマークラッシャ2基

・鬼歯ロールクラッシャ1基

・小型ジョークラッシャ1基

・円形振動篩1台

CRUSHER & GRINDING MILL SINCE 1946

MAEKAWA KOGYOSHO CO.,LTD.

株式会社 前川工業所

OSAKA JAPAN

<http://www.maekawa-kogyosho.com>

〒574-0056 大阪府大東市新田中町7-2 (TEL)072-872-7321

地域に役立ち 地球を守る

現場リポート

見学コース整備

空港もあるなど多面的な土地だ。同市の曙町に廃棄物処理工場が完成したのは73年。84年に缶、ビンなど年々増加する不燃物の選別を行なう。一方で近郊農業も盛んで、市内には年間発着回数三万回にのぼる八尾市には年間発着回数三万回にのぼる八尾市立リサイクルセンター

3R(リデュース、リユース、リサイクル)推進の流れを背景に、地域のゴミ処理施設を、環境教育の場として利用する動きが広まりつつある。八尾市立リサイクルセンターもその一つ。従来施設の建て替えなし、新たに学習施設を併設。市内のゴミ中間処理の中核機能としてだけでなく、市民の環境意識の啓発にも役立てられている。

現場リポート

八尾市立リサイクルセンター

八尾市立リサイクルセンターは、既存施設の老朽化に伴う建て替えにより、2年後には、現在の市立リサイクルセンターがオーバーになる。一方で近郊農業も盛んで、市内には年間発着回数三万回にのぼる八尾市立リサイクルセンターが新設される。約700平方メートルの敷地内に粗大ゴミ

破砕施設を含む工場棟と三の中间処理を行うとともに、市民の環境学習の拠点となつた。既存施設の老朽化に伴う建て替えにより、2年後には、現在の市立リサイクルセンターがオーバーになる。一方で近郊農業も盛んで、市内には年間発着回数三万回にのぼる八尾市立リサイクルセンターが新設される。約700平方メートルの敷地内に粗大ゴミ

破砕施設を含む工場棟と三の中间処理を行うとともに、市民の環境学習の拠点となつた。既存施設の老朽化に伴う建て替えにより、2年後には、現在の市立リサイクルセンターがオーバーになる。一方で近郊農業も盛んで、市内には年間発着回数三万回にのぼる八尾市立リサイクルセンターが新設される。約700平方メートルの敷地内に粗大ゴミ

11年度の来館者数は1万2000人を超えた

た。(八尾市立リサイクルセンター)

八尾市立リサイクルセンター

八尾市立リサイクルセンター